
e news SEaweEDS No.28

日本海藻協会ニュース

2010年7月22日

I. 協会事務局から

1. 2010 秋季藻類シンポジウム

恒例の**秋季藻類シンポジウム**を**10月8日（金）**に学士会館（東京・神田）で開催する予定で計画を進めています。皆様のご協力をお願いします。

II. 海藻関連ニュース

1. 第20回バイオ・高分子シンポジウム

高分子学会バイオ・高分子研究会主催の**第20回バイオ・高分子シンポジウム**が**7月28-29日**に東京大学先端科学技術研究センター4号館2階講堂（東京・目黒区駒場）で開催されます。

詳細は www.spsi.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=536 を、プログラムは www.spsi.or.jp/c12/gyojiprg/100728bk.html をご覧ください。

2. 体験イベント「ところてんを作って食べよう」

千葉県立中央博物館主催の**体験イベント「ところてんを作って食べよう」**が**7月31日10:00-15:00**に同博物館（千葉市中央区）で開催されます。

詳細は www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/ をご覧ください。

3. 日本食品工学会第11回年次大会

日本食品工学会第**11回（2010年）年次大会**が**8月4-5日**に東京海洋大学品川キャンパス（東京・港区）で開催されます。

詳細は http://www.jsfe.jp/annual_meet/2010/taikai2010.pdf をご覧ください。

4. 油化学関連シンポジウム in 佐賀

日本油化学会関西支部主催の**油化学関連シンポジウム in 佐賀「健康と分子栄養学の接点—いかにして新しい知識を生かすか—**」が**8月7日**に佐賀大学農学部大講義室（佐賀市本庄町）で開催されます。

詳細は www.jocs-office.or.jp/gyojiyotei/saga.pdf をご覧ください。

5. 記念講演会「藻類 30 億年の自然史」

千葉県立中央博物館主催の記念講演会「藻類 30 億年の自然史」（講師：筑波大学井上勲教授）が 8 月 8 日 14:00－16:00 に同博物館講堂（千葉市中央区）で開催されます。詳細は www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/ をご覧ください。

6. 千葉県立中央博物館の企画展（本協会後援）

「海藻、35 億年の旅人」と題した千葉県立中央博物館企画展が 7 月 3 日－9 月 5 日まで同館（千葉市中央区青葉町 青葉の森公園内）を中心に開催されています。

詳細はウェブサイト www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/ をご覧ください。

7. 第 9 回国際海洋バイオテクノロジー会議

国際海洋バイオテクノロジー学会（International Marine Biotechnology Association, IMBA）主催の第 9 回国際海洋バイオテクノロジー会議（The 9th International Marine Biotechnology Conference, IMBC 2010）が 10 月 8－12 日に中国の青島で開催されます。詳細はウェブサイト www.imbc2010.org をご覧ください。

8. 第 3 回藻類の世界アジア 2010

アジア太平洋地域のマーケット繁栄を目指す第 3 回藻類の世界アジア 2010（The 3rd Algae World Asia 2010）が 10 月 19・20 日にシンガポールの Goodwood Park Hotel Singapore で開催されます。学術研究者、産業関係者、投資関係者などが参加する集会で、主要分科会として「藻類生産システムのブレークスルーと進展」「藻類生産力と藻類加工効率を高めるためのテクノロジー」「高価値副産物の開発」「炭素吸収と排水処理のための藻類利用」「藻類バイオ燃料の商業化戦略と進展」などが予定されています。詳細はウェブサイト <http://www.cmtevents.com/eventschedule.aspx?ev=101038&> をご覧ください。

9. 第 4 回国際応用藻類学会議（ISAP-2011）

国際応用藻類学会（International Society for Applied Phycology, ISAP）主催の第 4 回国際応用藻類学会議（The 4th Congress of the International Society for Applied Phycology, ISAP-2011）がカナダのハリファックス（Halifax）で 2011 年 6 月 19－24 日に開催されます。カナダの National

Research Council (Institute for Marine Biosciences) が世話を担当し、会場は Halifax Marriott Harbourfront Hotel が予定されています。藻類の増養殖、利用、企業化などに関する専門家の世界各地からの参加が期待されています。近々、参加登録並びにプログラム等に関するウェブサイトが開設される予定です。本ニュース添付の案内を参照下さい。問合せ先： Local Organizing Committee for ISAP 2010 (e-mail: ISAP2011@nrc-cnrc.gc.ca)

10. 第5回ヨーロッパ藻類学会議

ヨーロッパ藻類学会連合 (European Union of Phycological Societies) 主催の第5回ヨーロッパ藻類学会議 (The 5th European Phycological Congress, EPC5) が "Exploring the Phycocosmos: A European Perspective" をテーマに 2011年9月4-9日にギリシャのロードス島 (Rhodos Palace Hotel) で開催されます。詳細はウェブサイト www.epcv.gr をご覧ください。

III. カレンダー

- 2010.7.24.-25. 植物観察会「潮だまりの海藻一家族で学ぶ海の自然誌ー」(千葉・勝浦市、千葉県立中央博物館分館 海の博物館) (→ No.27)
- 2010.7.28-29. 第20回バイオ・高分子シンポジウム (東京・駒場、東京大・先端科学技術研究センター4号館)
- 2010.7.31. 体験イベント「ところてんを作って食べよう」(千葉市中央区、千葉県立中央博物館)
- 2010.8.4-5. 日本食品工学会第11回年次大会 (東京・港区、東京海洋大・品川キャンパス)
- 2010.8.7. 油化学関連シンポジウム in 佐賀 (佐賀市本庄町、佐賀大・農)
- 2010.8.8. 記念講演会「藻類 30億年の自然史」(千葉市中央区、千葉県立中央博物館)
- 2010.10.8. 秋季藻類シンポジウム (東京・神田、学士会館)
- 2010.10.8.-12. 第9回国際海洋バイオテクノロジー会議 (IMBC 2010) (中国・青島)
- 2010.10.19-20. 第3回藻類の世界アジア 2010 (シンガポール)
- 2010.6.19.-24. 第4回国際応用藻類学会議 (ISAP-2011) (カナダ、ハリファックス)
- 2011.9.4-9. 第5回ヨーロッパ藻類学会議 (ギリシャ、ロードス島)

IV. 海藻 Q & A

Q 29— オイルをつくる藻類があるというのは本当ですか？

A— 微細藻類の中には体内に油を持っているものがあることは古くから知られており、特にある種の珪藻は体内に油滴を持っているので、それを取り出してエネルギー源として利用しようとする試験研究は 20~30 年前にもあった。しかし、種々の困難な課題があり、実用の段階には至らなかった。

近年、世界で注目されているのは房状の群体を形成するボトリオコッカス属 (*Botryococcus*) の緑藻で、ボトリオコッカス ブラウニー (*B. braunii*) は重油に相当するオイル(炭化水素)をつくることが知られている。*B. braunii* は世界各地の淡水の湖沼やダムなどに生息しており、オイルを直接作り出す生物として注目されている。ボトリオコッカスは細胞内で作り出したオイルを細胞外に分泌して群体内に蓄積するので、これを取り出して利用することが検討されている。オイル含量は乾燥重量の 60%に達することがあるという。ボトリオコッカスの細胞は幅 5~14 μm 、長さ 8~20 μm で、くさび形ないし楕円形をしており、1 個の葉緑体を持つ。ブドウの房状の群体は大きさ 30~200 μm の球形ないし楕円形で、時には 1mm に達することもある。現在、培養株を用いて、増殖速度を高めること、オイル含量を高めることなどの研究が進められているほか、天然水域からオイル生産性の高い種を探索する研究などが行われている。

ボトリオコッカス以外にもオイルをつくる微細藻類が知られており、世界各国でこのようなオイルをつくる藻類の研究が進められている。

これまでのQ&A

Q 1— 「海藻」と「海草」は同じですか。(No.2 に掲載)

Q 2— ノリの「色落ち」って何ですか。(No.2 に掲載)

Q 3— 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか？(No.3 に掲載)

Q 4— コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか？ 焼き海苔はなぜ緑色か (No.3 に掲載)

Q 5— 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか？ (No.3 に掲載)

Q 6— テングサという種名の海藻はないのですか？ (No.4 に掲載)

Q 7— 「うみぶどう」は海藻の名前ですか？ (No.5 に掲載)

Q 8— 「キラー海藻」って何？ (No.6 に掲載)

Q 9— 日本の海苔は輸出されていますか？ (No.6 に掲載)

Q 10— 「髪菜 (はっさい)」は海藻ですか？ (No.7 に掲載)

Q 11— 中国で栽培 (養殖) されているノリは日本のノリと同じですか？ (No.8 に掲載)

- Q12- 「岩のり」と「青のり」は違うものですか？ (No.9 に掲載)
- Q13- 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？ (No.10 に掲載)
- Q14- 「鰯浦こんぶ」はコンブですか？ (No.11 に掲載)
- Q15- 日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか？ (No.12 に掲載)
- Q16- 「磯焼け」って何？ (No.13 に掲載)
- Q17- 「寒天」と「ところてん (心太)」はどう違うのですか？ (No.14 に掲載)
- Q18- 「はんば」って何？ (No.15 に掲載)
- Q19- 「みずこんぶ」(水こんぶ)とは？ (No.17 に掲載)
- Q20- わかめ(若布)の製品にはどのようなものがありますか？ (No.18 に掲載)
- Q21- 有毒な海藻はありますか？ (No.19 に掲載)
- Q22- 「とろろこんぶ」(商品名)はトロロコンブ(種名)からつくられますか？ (No.21 に掲載)
- Q23- カワノリは淡水産ですか？ (No.22 に掲載)
- Q24- 「のりの佃煮」の原料海藻は何ですか？ (No.23 に掲載)
- Q25- “ドゥルー祭”について教えてください。(No.24 に掲載)
- Q26- “ISA”と“ISS”について教えてください。(No.25 に掲載)
- Q27- 「すいぜんじのり」ってどんなノリですか？ (No.26 に掲載)
- Q28- サンゴにはどんな藻類が共生しているのですか？

☆☆

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回(毎月15日付で)発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 (arugay@mx4.ttcn.ne.jp)

☆☆